

(仮訳)

G 7 貿易大臣発表の共同コミュニケ（2024年2月7日）

我々、G 7 貿易大臣は、イタリア議長の下、2024年2月7日にオンラインで会合を行った。これまでのG 7 貿易関連の成果に対するコミットメントを再確認し、我々は、第13回WTO閣僚会議（MC13）の成功に向けた我々の作業に重点を置き、世界貿易機関（WTO）の改革に議論の焦点を当てた。

我々は、拡大する構造的な課題、地政学的緊張、不平等の増大及び気候危機から生じる、長期化する世界貿易への影響及びリスクを引き続き懸念している。この世界的な脆弱性は、ロシアのウクライナに対する侵略戦争の継続によって悪化している。また、ハマス等によるイスラエル各地へのテロ攻撃、それに続くガザでの紛争と悪化する人道危機、さらに紅海における商業船や国際航路へのホーシー派による一貫した破壊的な攻撃による悪影響もあり、港湾、貿易の流れ及び世界経済に直接的な影響を及ぼしている。

MC13直前に、我々は、第12回閣僚会議（MC12）で開始されたWTOの改革プロセスを後押しし、WTOを中核とする、ルールに基づく、包摂的で、自由で公正な多角的貿易体制を強化するため、この機会を捉えるとの強い決意を再確認する。我々は、今次G 7 貿易大臣会合に参加したオコンジョ＝イウェアラWTO事務局長による、アブダビで開催されるMC13までの道のりに関するプレゼンテーション及び知見の共有に感謝する。

我々は、今次会合を通じて、MC13の成功が、現在の世界経済の混乱、貿易摩擦並びに世界貿易及び包摂的成長を危うくするその他の新たな課題に対応する上で、非常に重要な役割を果たすことを認識した。したがって、我々は、MC13を成功させることに引き続き全面的にコミットし、ジュネーブの我々の代表に対し、引き続き建設的に関与するよう指示するとともに、他のWTO加盟国に対しても同様の対応をとるよう奨励する。

MC12成果文書に沿って、我々は、WTOの監視、交渉及び紛争解決（DS）制度機能を改善するための改革を引き続き追求するとコミットメントを確認した。我々は、ジュネーブで進行中の議論における進展を認識した。紛争解決改革に関しては、我々は、2024年までに全ての加盟国が利用できる完全かつよく機能する紛争解決制度の実現を目指した議論を行うことに引き続きコミットしている。

WTO改革に向けた我々の努力の一環として、我々は、貿易と産業政策、貿易と環境、貿易と包摂性の関連といった分野を含む、現代の重要な貿易問題に関し、将来を見据えた取組を立ち上げ、適切に議論に反映するために、WTOの審議機能を強化する必要性を確認した。我々は、WTOの審議機能が効果的であるためには、全ての加盟国からの透明性が不可欠であることを認識した。したがって、我々は、全てのWTO加盟国に対し、MC13におけるこれらの課題に関する審議の開始を支持するよう奨励する。

MC 12で採択されたWTOの漁業補助金協定の重要性を想起し、我々は、MC 13におけるWTOの漁業補助金協定のフェーズ2の下での有意義な成果のために、未解決の問題を解決し、交渉を完了させるコミットメントを確認した。我々はまた、全てのWTO加盟国に対し、フェーズ1の漁業補助金協定の発効に必要なそれぞれの受諾プロセスを完了するよう求める。

我々は、MC 13において、電子的送信に対する関税の恒久的な禁止、又は少なくとも電子商取引のモラトリアムの更新を改めて支持し、並行して、開発志向かつ包摂的なアプローチによる、再活性化された電子商取引作業計画の下での取組の継続への支持を改めて表明した。

MC 12で採択された食料不安に対する緊急対応に関する閣僚宣言のフォローアップとして、我々は、特に輸出の禁止及び制限の透明性並びに予見可能性の強化を通じて食料安全保障の課題に対処するためのMC 13での成果を支持する。我々はまた、農業分野におけるバランスのとれたアプローチを支持する。

我々は、貿易、ひいてはWTOが、気候変動、生物多様性の損失及び汚染を含む地球規模の環境課題に取り組む上で、極めて重要な役割を担っているとの見解を共有する。したがって、我々は、貿易政策及び環境政策の相互の補完性を強化するため、貿易と環境に関する委員会の活動を活性化し、WTO内で進行中の他の取組を支援する意図を有している。

我々は、共同声明イニシアティブ（JSI）の参加国による開発のための投資円滑化協定のテキストに基づいた交渉の妥結を含む、MC 13に向けた共同声明イニシアティブ（JSI）の進捗を歓迎した。我々は、サービス国内規制に係る規律の認証手続の早期完了の重要性を強調する。我々は、電子商取引JSIの交渉の適時の妥結に向けて取り組むことにコミットする。我々は、JSIの交渉結果がWTO法体系に速やかに組み込まれることを強く支持する。

最後に、我々は、貿易の開発側面の重要性を認識し、アフリカやその他の地域の開発途上国及び後発開発途上国が世界貿易によりよく統合されるよう引き続き支援する。したがって、我々は、MC 13での更なる進展を目指し、LDCからの卒業を含む開発問題に関する議論の継続を支持する。

我々は、より高い生活水準、完全雇用、生産と貿易の拡大、持続可能な開発と包摂的成長、保護され保全された環境など、WTOの基本的な目的に引き続きコミットする。我々は、多国間の協力が公正な競争、予見可能なルール、透明性に支えられなければならないと信じている。MC 13は、WTO加盟国がこれらの目的を再確認し、WTOがその目的を確実に達成するための重要な機会となるだろう。

我々は、レッキョ・カラブリアでの次回会合において、MC 13の成果やその他の共通の優先事項について話し合う予定である。